

NOSAIの技術情報



No. 5

平成18年12月1日
神奈川県農業共済組合

園芸ハウスの省エネルギー対策はお済みですか

原油高騰に伴う施設園芸などの燃料費の影響を緩和するため、燃料費節減に関する技術対策が重要です。

1 ハウスの気密性を高める

被覆資材の破れや隙間を点検し、加温開始前に補修やバンドの締め直しを行なう。
冷気の流入を防ぐため、以下の部分の気密性を高める

- ・ ハウス出入り口
- ・ 内張フィルムの接合部
- ・ サイドフィルムの裾部
- ・ ハウスの谷部
- ・ サイド換気部

2 ハウスの保温性を高める

カーテンによる被覆

- ・ 二層カーテンの場合は、ポリエチレンなどの断熱性の高い資材を上層に用いるのが一般的である。
- ・ 多層被覆にすると日照不足が起きやすく、多湿傾向になるので、保温性だけでなく流滴性や通気性など湿度対策を考慮した資材選択が必要。

温室の内張り・外張り

3 加温機の清掃・点検等

ハウス加温機のメンテナンスの徹底

- ・ ノズルの交換（1年又は燃料10KL消費ごと）
- ・ エアーシャッターの調節
- ・ バーナーノズル周辺のディフューザ廻りのススや汚れの除去
- ・ 燃焼用空気取入口の設置
- ・ 送風機（ファン）の送風量の確保

4段変温サーモの利用・一日を4つの時間帯に分けた温度管理。

エコマイザーの利用・煙突排気熱の回収。

4 温風暖房におけるダクト配置

ハウス内の水平方向や上下方向の温度分布の均一化を図り循環扇の利用。

5 地中熱交換

昼間の太陽熱を最大限蓄熱する。